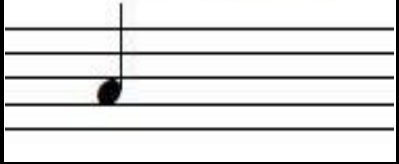






VDB大会で使用するノーテーション (楽譜表記の意味と表現について)

<p>タップ(0から10度以内)</p> 	<p>アクセント無しの場合はタップストロークの演奏となります。</p> <p>ハイト (高さ) : 0度から10度以内で手首をターンさせて演奏します。</p>
<p>45度アクセント</p> 	<p>ハーフアクセントは半分サイズのアクセント演奏となります。</p> <p>ハイト (高さ) : 45度前後へ手首をターンさせて演奏します。</p>
 <p>90度アクセント</p>	<p>レギュラーアクセント 通常サイズのアクセント演奏となります。</p> <p>※当大会楽譜では、スタッカートマークを使用しております。</p> <p>ハイト (高さ) : 90度以内で、できるだけ垂直方向に手首をターンさせて演奏します。</p>
<p>90度アクセント+腕</p> 	<p>アクセンティシモ 山型アクセントの演奏となります。</p> <p>※当大会楽譜では「より強いアクセント」として使用しております。</p> <p>ハイト (高さ) : 90度付近、そして前腕の振り上げを可能な範囲で活用します。</p>
<p>両手で叩く</p> 	<p>ダブルストップ 両手同時に打つ演奏となります。</p> <p>音の粒同士がぴったりと重なるように同時に叩きます。</p>